

就労移行支援事業所連絡会

～リモート Ver.～

5月17日(月)開催

5月17日、各就労支援事業所のリーダースタッフに参加いただき、今年度2回目となる就労移行支援事業所連絡会（以下、連絡会）を開催いたしました。前日から北海道を対象に発令された緊急事態宣言下という状況を鑑みて、今回は完全リモート体制での連絡会となりました。当日は各事業所が緊急事態宣言発令に伴う対応に追われる中ではありましたが、当センターを含めて5事業所が参加し、改めて本会における各事業所の思いが伝わってくる内容となりました。

就労移行支援事業所見学会

お互いの事業所を見学することで事業所同士の関係性を深め、また支援員や対象者のスキルアップに繋がることを目的に見学会を予定しております。前回の連絡会では見学会の実施理由やどんな見学会にしたいのか意見交換を行いました。今回はより具体的に見学会の内容について話し合い、事業所間での合意形成を図りました。

- ・個別支援計画の書式等、アセスメントツールをシェアし、アセスメント方法について知る。
- ・事業所の良い所、特色を経験年数の少ない職員にも話してもらうことで、対外的なプレゼン能力のスキルアップにつなげる。
- ・各事業所の対象者にも参加してもらえる内容（作業活動見学や施設の案内役、質疑応答の時間にも出席してもらう等）を検討し、目標設定やモチベーションへの働きかけ、何より日々の取り組みを振り返って見学者に語るができること、今後の就職活動に活かせるのではないかな。

第1回の見学会はリーダースタッフの方を対象に、コロナウイルスの感染状況を見ながらはなりますが順次準備を進めて参ります。

初めての取り組みとなりますが、支援のノウハウを共有することで支援力の向上や今後の活発な意見交換に繋がることを期待しております。

支援員スキルアップ研修

どのような研修が求められているのか、昨年度までに挙げられた意見を【就労支援のプロセス】(下図)に当てはめながら整理し、話を進めていきました。

就労支援のプロセスごとに課題を共有しましたが、経験年数によっても身に付けたいスキルが違うことから、次回の連絡会では支援員の経験別に課題を落とし込んでいく作業を進め、その上で今年度学びたい内容について優先度を決めていくことになりました。

他にも「変化する制度に対してどのように理解し対応しているのか」、「コロナ禍の影響もあって対象者のモチベーションや就労意欲等のメンタル面にどう関わっていくか」等、話題が尽きることはありませんでした。

就労支援のプロセスについて挙げられた課題や意見(抜粋して記載)

就労プログラムの立案と実施をどのように考えていくか

実習を行う適性なタイミングとは

就労相談

準備訓練
アセスメント

求職活動

マッチング

職場適応支援
フォローアップ

就職働くイメージや意欲への具体的な働きかけをどうするか

就職後のフォローに関して学びたい

今後も地域の支援力の底上げや支援員のモチベーション向上を目指し、本連絡会で挙げられた課題を他の研修や会議等と組み合わせて、より効果的な取り組みにしていきたいと考えております。

(担当：荻原・増田)